一般社団法人まどかこどもレグル

Annual Report 2022-2023

一般社団法人まどかこどもレグル

〒 270-1431 千葉県白井市根 116-16

TEL：**047-707-2976**（代表） ホームページ：**https://regle.jp/**

ご挨拶

日頃よりまどかこどもレグルにあたたかいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
2022 年度もたくさんのお力添えをいただき、おかげさまで学童保育事業・自然教育事業・音楽療法事業ともに歩みを進めることができました。賛助会員、法人会員をはじめ、応援してくださる皆様に心より御礼申し上げます。
ここに 1 年間の活動報告をまとめましたので、ご覧いただけますと幸いです。

社会が目まぐるしく変化する昨今、子どもたちを取り巻く環境も日々刻々と変わっています。特にこの数年は、コロナ禍の影響も含めて日本のみならず世界中の子どもたちが、現状を受け入れ、制限の中でできることを探し、さまざまな想いを抱えながらも懸命に歩んできたと思います。
同時に教育現場への ICT 導入の加速、スマートフォンの低年齢化……幼いころから膨大な量の情報に触れることが当たり前になりました。

忙しく過ごす中でも、ふっと力を抜いて安心できる時間。
自分の気持ちに正直に、子どもらしくいられる場所。
やりたいことに自由に没頭して、深めていける経験。

心身の成長の土台をつくる幼少期に携わる私たちは、社会の変化に順応しながらも、子どもたちにとって変わらず大切なことが何かを探し続け、一人ひとりの多様な可能性を拡げられるよう努力していきます。

そして、子どもたちが大人になったときも、あたたかいつながりを実感できる地域社会の実現を目指して、一歩一歩積み重ねていきます。
これからも変わらぬご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人まどかこどもレグル
代表理事 嶋本祐子

“ 時代 ” のものさし、“ 社会 ” のものさし、“ 大人 ” のものさし、“ 自然 ” のものさし、“ 世代 ” のものさし。私たちは日々、さまざまな「ものさし」に囲まれて生きています。いくつもの尺度とともに生きていくからこそ、たくさんの経験を通じてさまざまな価値観や個性に出会い、体感しながら、自分だけの「ものさし」を育んでほしい——そんな思いのもとで、まどかこどもレグルの事業を営んでいます。あらためて、3 つの事業の概要をお知らせいたします。

自然教育事業

事業の軸となるのは、「自然」や「農業」、そして「地域」とつながること。専門家による自然観察会や、生きもののすみかであるビオトープづくりなど、自然や農業に触れる体験を通して豊かな感性や情緒、創造力を育んでいきます。地域での活動を通じて “ 子育て世代 ” と “ 地域に根ざす団体や行政 ” とをつなげ、自然や農業への興味関心を醸成しながら、人も自然も健やかな地域社会の実現を目指します。

学童保育事業 ratoon

たくさんの「好き」や「わくわく」が芽吹きはじめる小学生時代。心と体を存分に使って成功や失敗を経験しながら、一人ひとりの “ やりたい ” を叶え、生み出せる場所を目指しています。活動を通じてアイデアを形にする面白さや、思いを伝える大切さを体感できる機会も提供しています。また、多様な大人との交流も積極的に取り入れ、大人や地域とつながりながら豊かな心と原動力を育む場をつくっています。

音楽療法事業「おとのわ」

障がいや発達に不安のある子どものための音楽療法教室として、悩みや状況に合わせたプログラムを設定し、発達の促進やコミュニケーションの向上、発声や発語の促し、社会性の習得など、多面的な視点からのアプローチで子どもの可能性を広げていきます。好きなことや夢中になれることを見つけたり、自由に表現する楽しさを知ったりと、さまざまな感覚や感情を知り、経験することを大切にしています。

自然教育

事　業

Nature education

自然教育事業では、自然や農業に触れる体験を通じて子どもたちの感性や創造力を育むとともに、幅広い世代の方とのつながりを広げることを目指して活動しています。
2022 年度は、白井市平塚にお借りしている里山「レグルの森」で主催イベントを 3 回（春、夏、秋）実施しました。季節ごとの自然を楽しみながら、森にある資源や環境を活かしたり、刃物の使い方やロープワークを学んだりと、子どもも大人も同じ目線で一緒に活動する機会となりました。
地域との連携協力にも力を注ぎたいと考え、白井市とまどか幼稚園の協働事業であるけやき台多目的広場のビオトープ事業と、白井市と印西市にまたがる谷田武西自然環境保全地区で始まった取り組み「子ども里山学校」にも協力団体として携わる機会をいただきました。

活動実績

開催日	カテゴリ	内容	参加人数
2022 年 4 月 16 日	イベント	レグルの森で春を味わう（たけのこ掘り）	63 人
4 月 24 日	地域協力	けやき台多目的広場　春のしぜんと田んぼのじゅんび （共催：白井市　まどか幼稚園）	45 人
5 月 28 日	地域協力	けやき台多目的広場　初夏のしぜんと田植え （共催：白井市　まどか幼稚園）	66 人
6 月 26 日	環境整備	草刈りと民家お掃除	8 人
7 月 31 日	イベント	レグルの森　夏の夜の里山探検	46 人
8 月 23 日	環境教育	学童保育 ratoon の里山散策 （谷田武西原っぱと森の会の協力により実施）	18 人
9 月　3 日	地域協力	西白井のナイトツアー （神崎川を守るしろい八幡溜の会の協力により実施）	47 人
10 月 15 日	地域協力	けやき台多目的広場　秋のしぜんと稲刈り （共催：白井市　まどか幼稚園）	44 人
10 月 16 日	地域協力	子ども里山学校（共催：印西市　白井市　東邦大学 谷田武西原っぱと森の会）	65 人
11 月 6 日	イベント	レグルの森　里山の秘密基地	13 人
12 月 3 日	地域協力	けやき台多目的広場　冬のしぜんとわらしごと （共催：白井市　まどか幼稚園）	37 人
2023 年 3 月 26 日	地域協力	子ども里山学校（共催：印西市　白井市　東邦大学 谷田武西原っぱと森の会）	73 人

資金調達

2022 年度は以下の助成事業に採択いただきました。

●独立行政法人国立青少年教育振興機構　子どもゆめ基金
自然体験活動として夏の夜の里山探検（7 月）、里山の秘密基地（11 月）を実施いたしました。

●生活クラブ虹の街　こども食堂基金
食育活動として、つばめ食堂（2023 年 1 月～ 3 月）を実施いたしました。

活動の様子

環境整備

白井市平塚にお借りしている「レグルの森」の整備や、拠点となる民家の清掃を実施。レグルの輪メンバーの皆様にもお手伝いいただきました。





地域と連携・協力





けやき台多目的広場のビオトープでは、田んぼの活動（苗づくり・田植え・稲刈り・しめ縄づくり）と季節ごとの自然観察を行い、夏には初のナイトツアーも実施しました。子ども里山学校では、秋に原っぱの虫探し、春には室内の里山遊びが行われました。

イベント

春は恒例となるたけのこ掘り。竹林の手入れもお手伝いいただき、たけのこご飯や菜花のみそ汁を味わいました。夏は夜の里山探検。日が暮れて暗くなる道を歩き、茅葺屋根の滝田家住宅で田んぼの観察。森に仕掛けたライトトラップには夜の生きものが集まりました。秋は里山で秘密基地づくり。ロープワークを学び、シートを使って手づくりタープに挑戦しました。





しろいの食育食堂　つばめ食堂

子どもの健やかな成長の土台となる食生活の支援や、地域コミュニティとなる居場所づくりに寄与したいと考え、2023 年 1 月より月 1 回の頻度で食育の取り組みを始めました。普段の生活では出会う機会のなかった人と出会い、誰かと一緒に食事をとることを楽しみ、季節を感じ、農作物や食材への関心を育む、世代にかかわらずさまざまな方にお越しいただける食育食堂を目指します。







●活動実績

開催日	内容	参加人数
1 月 20 日	お雑煮いろいろ	35 人
2 月 17 日	節分汁と立春おこわ	47 人
3 月 17 日	ハレの日ごはん	43 人

つばめ食堂の詳細なご案内と、参加のお申し込みについてはこちらからご確認ください。

学童保育事業

ratoon

After-school care

2022 年度の ratoon は、16 人の新入生を迎えてスタートしました。前年度はコロナ禍の影響などにより入室希望者は減少しましたが、近隣の公立学童から待機児童の入室を受け入れるなど、さまざまな子どもたちのお預かりの受け皿として機能を果たしてきました。また、コロナ禍においても現在までクラスタ発生や休室は発生しておらず、大きな混乱なく安全に過ごすことができています。
しかし、夏休みはコロナ禍の影響による休会や入室控えもあり、入室人数は依然として減少傾向にありました。その中で、子どもたちにいかにワクワクできる放課後と安心できる場を提供していけるか、職員全員で知恵を絞り、環境や対策を整えることに力を注ぎました。その結果、夏には 3 年ぶりとなる「お寺に泊まろう」が復活。秋には、アートや自然科学に親しむ「秋のお寺に泊まろう」も開催しました。「ratoon 田んぼ」での稲作も、10 月に刈り取りを終え、今年度は 40kg のお米を収穫することができました。これは、熱心に草刈りに参加してくれた子どもたちや保護者の皆様のおかげです。ありがとうございました。今後も、焚火やキャンプといった季節や自然に親しむイベントを開催していきます。

また、今年度は嬉しいサポートメンバーの加入もありました。ratoon 開室当時に 6 年生だった子どもたちが高校生となり、「ratoon でアルバイトをしてみたい」と訪ねてきてくれました。現在は、スタッフの一員として活躍してくれています。また、ratoon を卒業して中学生になった子どもたちも「イベントのお手伝いをしたい！」と集まるなど、楽しい循環が生まれ始めています。

子どもたちの遊びに目を向けると、在室人数が多い中高学年の遊びが高度化していきました。たとえば、スタッフと一緒に ratoon のデジタルカメラを使って「ratoon シネマ」と称した映画を撮影したり、みんなで漫画を描きあって月刊のコミック誌をつくったりしています。学年や曜日をまたぎながら、子どもたちは自分たちのペースで「次はこうしよう、あれをつくろう」と創意をつなげて制作を進めています。集団での遊びに限らず、自分の好きな工作に打ち込む子、スタッフと他愛ない日常の話をする子など、ratoon では一人ひとりが自由な表情を見せてくれます。
新型コロナウイルス感染症の拡大には十分に注意を払いながら、今後も引き続き白井市の自然に親しみ、地域の方々とつながることで子どもたちの豊かな放課後づくりができるよう活動してまいります。

資金調達

2022 年度は、助成金・補助金等を利用せずに事業を実施いたしました。






活動実績

開催日	内容	参加人数
2022 年 5 月 28 日	ratoon 田んぼにて「親子で田植え」	35 人
6 月 19 日	ratoon 田んぼにて「草取りの会」	22 人
7 月　3 日	ratoon 田んぼにて「草取りの会」	16 人
7 月 23 日	ratoon 田んぼにて「草取りの会」	2 人
7 月 29 日 ～ 30 日	「ratoon キャンプ」	19 人
8 月 18 日 ～ 19 日	「お寺に泊まろう」	19 人
8 月 19 日 ～ 20 日	「お寺に泊まろう」	15 人
10 月　2 日	ratoon 田んぼにて「親子で稲刈り」	30 人
10 月 22 日	「秋の ratoon 遠足＠銚子」	8 人
11 月 19 日 ～ 20 日	「秋のお寺に泊まろう」	10 人
2023 年 2 月 19 日	レグルの森にて「焚火デイキャンプ」	8 人
3 月　5 日	レグルの森にて「焚火デイキャンプ」	10 人
3 月 11 日	「春の ratoon 遠足＠鋸山」	5 人

利用者・会費の推移

	延べ利用者数（前年度）	会費
2022 年 4 月	459 人（582 人）	1,761,700 円
5 月	438 人（524 人）	1,234,600 円
6 月	488 人（575 人）	1,184,600 円
7 月	391 人（511 人）	1,637,000 円
8 月	285 人（455 人）	1,833,200 円
9 月	429 人（474 人）	1,107,200 円
10 月	388 人（482 人）	1,158,200 円
11 月	377 人（500 人）	1,224,300 円
12 月	327 人（504 人）	984,100 円
2023 年 1 月	279 人（484 人）	835,700 円
2 月	301 人（440 人）	833,400 円
3 月	325 人（468 人）	1,007,200 円

活動の様子











音楽療法事業「おとのわ」

Music therapy

引き続き、音楽を通じて楽しく伸び伸びと過ごす中で、個々の課題に対する個別のアプローチを実施しました。
コミュニケーションの面では、お子さまの年齢や特性に合わせたコミュニケーション手段の獲得･汎化を目指した活動を実施。主に、音楽を通じた自由な表現の表出、音楽や楽器を使用したやり取りの拡大を目指した活動を行いました。
年長児に対しては、就学準備を目的とした活動を取り入れ、ひとつひとつの活動時間を長くすることで集中力の持続をはかったり、少し難しいと感じる活動にも楽しみながら挑戦していくことで、達成感の獲得や自己肯定感を高める活動を実施しました。

また、年度末のタイミングで保護者から１年間の振り返りと今後の進め方についてのヒアリングを行いました。これまでのお子さまの成長と、これからの新たな課題や挑戦していきたいことなどを話し合い、今後の活動に組み込んでいく予定です。
2023 年 4 月から小学生となるお子さまも多いので、環境や生活リズムの急激な変化に対応していけるよう、そして、おとのわが適度な発散場所となれるよう、引き続きサポートをしていきます。

個別セッション推移

開催日	実施回数	セッション料
2022 年 4 月	33 回（体験 2 件）	116,000 円
5 月	32 回（体験 1 件）	132,000 円
6 月	38 回（体験 3 件）	136,000 円
7 月	41 回（体験 2 件）	164,000 円
8 月	39 回	168,000 円
9 月	37 回	156,000 円
10 月	45 回（体験 2 件）	180,000 円
11 月	44 回	188,000 円
12 月	44 回（体験 2 件）	180,000 円
2023 年 1 月	44 回	192,000 円
2 月	37 回	196,000 円
3 月	49 回	196,000 円

新規利用者数

	人数
2022 年 4 月	0 人
5 月	1 人
6 月	3 人
7 月	2 人
8 月	0 人
9 月	0 人
10 月	1 人
11 月	1 人
12 月	0 人
2023 年 1 月	1 人
2 月	0 人
3 月	1 人

資金調達

2022 年度は、助成金・補助金等を利用せずに事業を実施いたしました。

活動の様子



音を色付きの◯で表した楽譜から少しステップアップして、五線譜の楽譜を取り入れるなど、実際の楽譜に近い形での演奏活動の取り組みも実施しています。色付きの◯と同じ色の音符が五線譜にのっているので、子どもたちはこれまで使用していた楽譜との違いに大きな違和感を覚えることもなく受け入れられているようです。音の長さや拍子など、難しいことは敢えて伝えず、まずは好きなように演奏することを楽しみます。
そうすることで、自然と五線の上の方にある「ド」と下の方にある「ド」の違いに自分から気づくことができたり、「なんでこの音符だけ白いの？」と子どもたちから疑問がたくさん生まれたりするので、楽しく覚えることができています！
また、「本物の楽譜で演奏できた！」という自信につながったり、楽譜に慣れることで実際に学校での音楽の時間に役立ったりすることもあるようです。

コロナ禍で、笛などの息を吹く楽器はしばらく使用を控えていましたが、どうにか違う形で、息の使い方や口腔周りの刺激になるような活動ができないかと模索していたとき、こんな絵本に出合いました！
『あっぷっぷ』は、よくある手遊び歌の「にらめっこしましょう、笑うと負けよ、あっぷっぷ！」の歌がそのまま絵本になったものです。いろいろな動物や人が面白い顔をしながら笑うのをこらえているので、子どもたちと一緒に実際に絵本の真似をしながらにらめっこをして、口を閉じたり頬を膨らませる練習として取り入れています。
『ふーってして』は、色絵の具を紙にたらして息をふーっと吹きかけたらどうなるかな？という内容の絵本です。これも、読みながら一緒に絵の具部分に息を吹きかけて、ふーっと息を吐く練習に取り入れています。色やイラストがかわいいので、みんな一生懸命に息を吹きかけて、どんな絵が完成するのか楽しみながら読みすすめています。



利用者の声

学校で、音楽の時間に初めて楽譜のドレミを見ながらピアノで１曲演奏することができたと報告を受け、先生方もとてもびっくりしていました！家族でも本当に信じられず、すぐに「おとのわ」のことを思い出して大変嬉しくなりました。（小２・男児）

この１年「おとのわ」に通ったことで、楽しい刺激に興奮しすぎず、うまく付き合う方法を学んだように思います。大好きな音楽を楽しむことを教えていただき感謝しています！　（小２・男児）

いろいろな習い事をしていますが、「おとのわ」は唯一、子どもが自分から行きたがる場所なので、これからも先生との時間を大切にしていきたいです。（年長・男児）

会費・寄付について

子どもたちの心にしなやかな「ものさし」を育む日々の活動は、私たちの思いに共感してくださる皆様からのご協力によって成り立っています。皆様のご支援が子どもたちの未来を支える力となります。
ぜひ 2023 年度も引き続きお力添えをお願いいたします。

サポーター（個人会員／法人会員）は、1 年ごとの更新となります。2023 年度もサポーターとしてご支援いただける方は、お手数ですが下記 QR コードや銀行振込、またはホームページよりお手続きをお願いいたします。

サポーターを継続する

個人会員様、法人会員様ともに、引き続きサポーターとしてご支援いただける場合は、こちらの QR コードよりクレジットカードにてお支払いいただけます。

寄付をする

銀行振込または下記の QR コードよりクレジットカード決済でのお手続きが可能です。

銀行振込をご希望の場合

サポーターの継続や寄付は下記口座宛の銀行振込でも受け付けております。

京葉銀行　白井支店
普通口座　8022641
一般社団法人
まどかこどもレグル

ひまわりオーガニックファーム





2023 年 1 月に開始した「つばめ食堂」は、できるかぎり白井や周辺地域で育った旬の食材を使い、体にも心にも嬉しい季節を感じる食事を提供したいという想いで取り組んでいます。
その想いの実現を支えてくださったのは、白井市神々廻で医食同源をテーマに旬の野菜を無農薬で栽培されている、「ひまわりオーガニックファーム」の谷口さんご家族でした。つばめ食堂の立ち上げからメニューの検討、食材提供、調理まで、全面的に協力してくださっています。
大きさや形の個性が強い野菜や、保存が難しい状態の野菜たち。たとえ販売に適さなくても味や栄養はまったく変わらず、むしろサイズが小さいことで実が詰まり、より美味しいこともあります。
ひまわりオーガニックファームの野菜をはじめ、提供していただいた大切な食材と皆さんのあたたかいお気持ちを、つばめ食堂を通して子どもたちや地域の方々に届けていきたいと思います。

2023年度の予定

4月
- 春のたけのこ掘り（自然教育事業／レグルの森）

5月
- 春の自然観察と田んぼの準備（自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）
- ratoon 田んぼでの田植え（学童保育事業）

6月
- 初夏の自然観察と田植え（自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）
- ratoon 田んぼでの草取り（学童保育事業）

7月
- ratoon キャンプ（学童保育事業）
- しろいのこどもしぜん塾 1 回目（自然教育事業／子どもゆめ基金助成活動）

8月
- ratoon キャンプ（学童保育事業）

9月
- 西白井ナイトツアー（自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）
- 里山デイキャンプ in レグルの森（学童保育事業）
- ratoon 田んぼのお手入れ（学童保育事業）
- しろいのこどもしぜん塾 2 回目（自然教育事業／子どもゆめ基金助成活動）

10月
- ratoon 田んぼでの稲刈り（学童保育事業）
- 秋の自然観察と稲刈り（自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）
- 秋のお寺に泊まろう（学童保育事業）
- 秋の ratoon 遠足（学童保育事業）
- ハロウィンウィーク（学童保育事業）
- しろいのこどもしぜん塾 3 回目（自然教育事業／子どもゆめ基金助成活動）

11月
- 里山焚火キャンプ in レグルの森（学童保育事業）
- しろいのこどもしぜん塾 4 回目（自然教育事業／子どもゆめ基金助成活動）

12月
- 冬の自然観察とわらしごと（自然教育事業／けやき台多目的広場ビオトープ）
- クリスマス会（学童保育事業）

1月
- 里山焚火キャンプ in レグルの森（学童保育事業）

2月
- 里山焚火キャンプ in レグルの森（学童保育事業）
- しろいのこどもしぜん塾 5 回目（自然教育事業／子どもゆめ基金助成活動）

3月
- ratoon 遠足（学童保育事業）

その他の取り組み

- 毎月 1 回　つばめ食堂（自然教育事業）
- 2024 年 1 月以降 「子ども第三の居場所」コミュニティモデルの運営（日本財団助成事業）

これらの取り組みの準備や運営、「レグルの森」をはじめとした活動場所の環境整備などにご協力いただける方を「レグルの輪」メンバーとして随時募集しています。地域の未来を描きながら、皆さんとともに歩んでいけたら嬉しいです。

「レグルの輪」メンバー登録はこちら➡